大阪城
2020
6/8
(月)
1407G
号
全港湾
西成分会
ごんわ
6647-
4947

窓を開け、換気をしながら、冷房クーラーをかけるという奇妙な夏が始まっている。

地下鉄も、窓を開け外気を入れ、クーラーをかけ走っている。新型は窓があかなかったり、超高層ビルなども、最新式は窓はあかない。今までとは違う何かが、いろいろ、いろんな場で生れている。

トランプが、連邦軍を弾圧に使うといって、軍隊の新旧指導者たちが反対し、ケンカになっている。ドレイ解放の南北戦争で内戦になり、約40万人が死んだので、軍隊は国内の戦いには使わないとなっている。州兵が当たることになっている。

国家という二つの組織のあり様を問う戦であり、150年も前から続く、政治斗争である。（リンカーンの斗いは続いている。）

日本では、明治維新の時であり、日本では新選組に殺された、暗殺だ、鳥羽伏見、会津、函館戦争でも全部で5千人ぐらいの死者である。6/17で国会も終り、7/5(日)は東京都知事選。安倍も去らなければならなくなるだろうが、新型コロナウィルスは、明治以来の日本社会のあり様も、土台から、ほんとうはパンドっているようにもみえる。

仕事の回復なかなか見通せない6月

梅雨が近づきどうなる事やら。

新型コロナ対策に追われて気がつくと6月。。日常に回帰する動きがはじまっていますが本格的に「コロナ以前」に仕事が復帰する兆しはまだ全然のようで、「とりあえず動き始める準備をしようか」という段階のようです。

西成・センター界隈の仕事も「壊滅状態」から立ち直りにむけて。現場もそろそろ動き始めてとか回復に向かってほしいと思いますが6月というと「梅雨の季節」となって現金仕事はなかなか厳しく難しそうです。

10万円コロナ特別低額給付金

通知がぼちぼちとどきはじめてるようです

さらなる経済対策を早く!

世界はめちゃくちゃ

アメリカのトランプ・フリッピンのドゥテルテ・ブラジルのジャイール・ボルソナーロ「自国第一主義」の跋扈によって、世界は混乱の極地ぼろぼろになっていきそうです。